

余呉のええもん“探(たん)験(けん)”企画

また来たい余呉をみんなでつくるアイデア会議

座長 ○中山 克己

1. 活動方針・目的

滋賀県最北端の街・長浜市余呉町(旧余呉町)では少子化・高齢化が急速に進み、自治体としての活力が後退しつつある。一方で、古くから北陸～近畿間の要衝として、歴史や文化の遺産が多く残る町である。2008年度から3年間滋賀県より「湖北ふるさと体験企画」の委託を受け合計8回の「余呉のええもん探験企画」と銘打った事業を実施した。一連の事業を進める実施組織として、町民の公募により委員を募り、「また来たい余呉をみんなでつくるアイデア会議(略称「アイデア会議」)」を発足させた。そしてこの「アイデア会議」の目的は、次のように定めた。

- (1) 湖北地域への農山村体験ツアーをモデル的に実施し、都市と農山村の交流を深める。
- (2) 農山村体験ツアーの担い手となる人材を育成し、地域の活性化をはかる。

2. 活動内容

以下のような事業(体験型観光企画)を実施した。

◆第1ステージ「名刹の囲炉裏で語ろう」

〈池原集落〉 (そば打ち体験、「全長寺」拝観、賤ヶ岳合戦物語)

◆第2ステージ「雪深い余呉の冬の暮らしを訪ねよう」

〈菅(すが)並(なみ)集落〉 (猪鍋・鹿鍋・打ち豆汁と、「洞(とう)寿院(じゅういん)」拝観、雪遊び)

◆第3ステージ「ようこそ 茶わん祭の里上丹生へ」

〈上丹生集落〉 (「源(げん)昌寺(しょうじ)」 「長福寺(ちょうふくじ)薬師寺」の仏像拝観、座禅体験、郷土料理)

◆第4ステージ「きゃんせ! 梅とお茶のまち坂口へ」

〈坂口集落〉 (営農組合の作業見学、北国街道散策、郷土料理「田舎膳」)

◆第5ステージ「第2回 そばの里余呉町池原 名刹の囲炉裏で語ろう」

〈池原集落〉 (そば打ち体験、「全長寺」拝観、余呉の昔話)

◆第6ステージ「第2回 きゃんせ! 菅公のまち 余呉町坂口へ」

〈坂口集落〉 (新米のお餅つき、しめ縄づくり体験、「菅山寺もてなし膳」)

◆第7ステージ「第3回 名刹の囲炉裏で語ろう」

〈池原集落〉 (そば打ち体験、「全長寺」拝観、お餅つき、賤ヶ岳合戦物語)

◆第8ステージ「雪深い山里で、郷土料理と雪中体験で冬を満喫」

(猪鍋・鹿鍋・郷土料理バイキング、2種類の冬の体験)

3. 他団体の参考となる事例

- (1) 前記事業を行うことについて、歴史・文化・自然・郷土食など、そしてそれらを支える人などの「余呉のたからもの」の発掘と確認を行った。→住民同士の交流会の実施
- (2) 観光事業の具体的な展開については、次の点を重要視した。
 1. 事業の展開については、集落を基本単位とし、その意思や方法を第一とする。
 2. 「余呉のたからもの」を体験してもらい都市住民と地元民との交流をはかる。

4. 今後の課題

- (1) 一過性の体験を一層交流が進む「民泊」へ発展させる課題。
- (2) 都市と農山村との交流を田舎へのUターン、Uターンに結びつける課題。
- (3) 事業の企画、実行に携わる人材の発掘と育成の課題。

余呉のええもん探験企画の取り組み

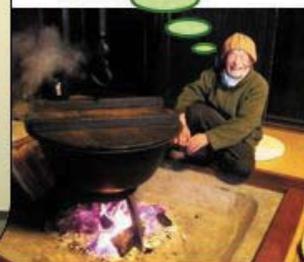


余呉のいいところを探って

体験・経験してもらおう。



余呉には、“宝もの”がいっぱいあるよ！



また来たい余呉をみんなで作るアイデア会議

座長 中山克己

アイデア会議の背景と概要

- 余呉町における体験型観光の状況
 - ・個別的な取り組みで、町全体のコーディネート体制が無かった。
 - ・役場の担当課を中心としたイベントとして企画運営



- 町全体として、企画立案の体制づくり
運営実行部隊を各集落単位で行い、地域の“宝もの”を活用することで、集落の自主性を引き出す。
(これまでの個人的な活動や役場等のイベントも活用する)

長浜市余呉町の概要

面積168km²

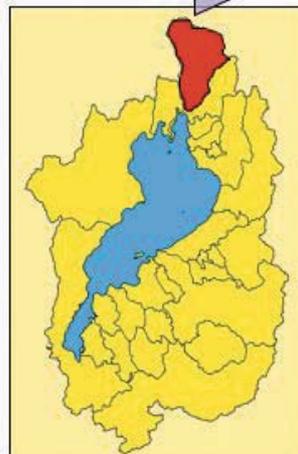
人口 男性 1,834人

女性 2,053人

総数 3,887人

65歳以上の人口に占める割合
(高齢化率) 32.9%

(2008年12月末現在)



事業の主旨

『都市住民にお金を落としてもらう。』

『都市住民に**余呉の魅力**を伝える。』

【これまでの観光】
“余呉は、わしらのもん！”

- ・自分たちだけでやる。
- ・町内の連携は少ない。
(1回きりの関係)



【これからの観光】
“余呉は、みんなの宝物！”

- ・外部の人たちと手を結ぶ。
- ・町内での連携を盛り上げる。
(いつまでもつづく関係)
- ・感動し、喜んでもらうに重点。
- ・集落に元気になってもらう。

事業の目標

◆情報の収集と整理

- ・町内にある観光・地域資源
や人材の情報収集
- ・都市住民のニーズの把握



◆人材の育成

- ・企画運営の担い手となる
人材発掘と能力開発

◆仲間づくり

- ・参画する個人・団体との連携



◆モデルツアーの開発

- ・町民手づくりによる企画と運営

取り組み

池原



全長寺は、昔話にぴったり！そばのほかに、“打ち豆汁、山菜、漬物、おにぎり、お餅”まで盛りだくさん！

菅並



郷土料理体験、雪どけ体験。

しし鍋、くま鍋、しか鍋を囲んで、夜おそくまで話がはずみました。

取り組み

上丹生



普段は見られない“観音さん”を拝観しました。

鯖そうめん、鮎ずし、ぜいたく煮、山菜などの郷土料理。

坂口



昔ながらの手法での餅つき。菅山寺の大祭で食べられていた料理の復刻。
地元のお年寄りの指導の元、しめ縄作り。

取り組み

郷土料理と雪中体験



寒中座禅体験やかんじき体験。猪・鹿・熊の鍋や郷土料理などなど。食と伝統を体感です！

住民交流会



農山村体験ツアーをするための心構えや、方法を学びました。
地元の方お手製のパンとコーヒーで余呉について話しました。

活動の成果と課題

◆活動の成果

- ・企画を「アイデア会議」、実行運営を「集落」というシステムが確立。→ 多くの町民がスタッフ参加。
- ・地域の資源(宝もの)を地元の方が再発見。
- ・女性グループ「こすもす畑余呉」がスタッフの中心として活動。→ 市民権得て他のイベントにおいても活躍。

◆今後の課題

- ・一過性の体験を一層交流が進む「民泊」へ発展させる課題。
- ・市と農山村との交流を田舎へのIターン、Uターンに結びつける課題。
- ・事業の企画・運営に携わる人材の発掘と育成



こすもす畑の活動